

平成18年度 決算報告書

国立大学法人名古屋工業大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,135	5,135	0	
施設整備費補助金	1,268	1,268	0	
補助金等収入	—	35	35	(注1)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	28	28	—	
自己収入	3,545	3,540	△ 5	
授業料、入学料及び検定料収入	3,477	3,435	△ 42	(注2)
雑収入	68	105	37	(注3)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,326	1,712	386	(注4)
目的積立金取崩	182	—	△ 182	(注5)
計	11,484	11,719	235	
支出				
業務費	7,030	6,526	△ 504	
教育研究経費	7,030	6,526	△ 504	(注6)
一般管理費	1,832	1,767	△ 65	(注7)
施設整備費	1,296	1,296	0	
補助金等	—	35	35	(注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,326	1,741	415	(注9)
計	11,484	11,365	△ 119	
収入-支出	—	354	354	

○予算と決算の差異について

- (注1) 補助金等収入については、予算の段階では予定していなかった国からの補助金の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が35百万円多額となっています。
- (注2) 授業料、入学料及び検定料収入については、平成19年度入学者に係る授業料の前納額が少なかったため、予算金額に比して決算金額が42百万円少額となっています。
- (注3) 雑収入については、主として機器等使用料及び不用物品等売払代などの増収により、予算金額に比して決算金額が21百万円、企業セミナーの実施及び日本留学試験の委託により16百万円多額となっています。
- (注4) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった国の各組織、特殊法人及び民間からの受託研究の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が238百万円・寄附金が148百万円多額となっています。
- (注5) 目的積立金取崩については、計画の見直しによる事業の繰延べに伴い、予算金額に比して決算金額が全額少額となっています。
- (注6) 教育研究経費については、経費の節減に努めたため、予算金額に比して決算金額が504百万円少額となっています。
- (注7) 一般管理費については、経費の節減に努めたため、予算金額に比して決算金額が65百万円少額となっています。
- (注8) (注1) に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が35百万円多額となっています。
- (注9) (注4) に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が415百万円多額となっています。